

参考文献

- 浅野弘毅（二〇〇〇年）『精神医療論争史』批評社
- S・アリエティ（一九五八年）『精神分裂病の心理』牧書店
- 有田芳生他（一九九五年）『あの子』がオウムに！』光文社
- 池田晶子、陸田真志（一九九九年）『死と生きる——獄中哲学対話』新潮社
- 池田清彦（一九九七年）『さよならダーウィニズム——構造主義進化論講義』講談社
- 市橋秀夫（一九九四年）『緊張病の2症例』木村敏編『精神分裂病Ⅰ 精神病理』（中山書店）所収
- B・イングリス（一九九四年）『トランス』春秋社
- 上野創（二〇〇二年）『がんと向き合って』晶文社
- 内村祐之（一九四八年）『精神醫學教科書 上巻』南山堂書店
- 浦河べてるの家（二〇〇二年）『べてるの家の「非」援助論』医学書院
- 江川紹子（一九九七年）『オウム真理教』裁判傍聴記②』文藝春秋
- 江熊要一（一九七四年）『生活臨床概説——その理解のために』『精神医学』第一六卷、六三—六三八ページ
- 遠藤周作（一九八六年）『私の見つけた名治療家32人』祥伝社
- 大岡昇平（一九七四年）『中原中也』角川書店
- 岡上和雄（一九七六年）『書評——精神科症例集 上巻』『精神医学』第一八卷、五八—五九ページ
- 岡田靖雄編（一九六四年）『精神医療』勁草書房
- 岡田靖雄、小坂英世（一九七〇年）『市民の精神衛生』勁草書房

岡村秀典（二〇〇〇年）「中国文明の起源——農耕のはじまりから国家の成立へ」鶴間和幸他編著『NHK スペシャル 四大文明 中国』（NHK出版）所収

荻野恒一（一九八〇年）『分裂病の時代』朝日出版社

R・カウスブルック（一九九八年）『西欧の植民地喪失と日本——オランダ領東インドの消滅と日本軍抑留所』草思社

加賀乙彦（一九九〇年）『ある死刑囚との対話』弘文堂

加賀乙彦（一九九二年）「中原中也の診断——病床日誌を読んで」『新文芸読本 中原中也』（河出書房新社）所収

笠原敏雄（一九七六年）「精神分裂病患者の防衛機制」『東大分院神経科研究会誌』第二号、七八—九二ページ

笠原敏雄（一九八〇年）「内観による症状消失の心理力動に関する一考察——症例を中心として」『第三回

日本内観学会発表論文集』（日本内観学会事務局）所収

笠原敏雄編（一九八七年）『サイの戦場——超心理学論争全史』平凡社

笠原敏雄（一九九五年）『隠された心の力——唯物論という幻想』春秋社

笠原敏雄（一九九七年）『懲りない・困らない症候群——日常生活の精神病理学』春秋社

笠原敏雄（一九九九年a）「心理療法随想 1——精神科病院での経験」『春秋』第四二号、一五—一八ページ

笠原敏雄編（一九九九年b）『多重人格障害——その精神生理学的研究』春秋社

笠原敏雄（二〇〇〇年）『超心理学読本』講談社プラスα文庫

笠原敏雄編（二〇〇二年）『偽薬効果』春秋社

笠原敏雄、日野厚（一九八七年）「27年間続いた暖気が怨念消失とともに短期間で消失した一症例」『日本心身医学会関東甲信越地方会講演抄録集 昭和38年—62年』（日本心身医学会関東甲信越地方会事務局）

- 笠原嘉（一九七四年）「書評——精神分裂病読本」『精神医学』第一六卷、六三〇—六三一ページ
- 笠原嘉（一九九八年）『精神病』岩波新書
- 風祭元（二〇〇一年）「脳とこころの相関」『こころの科学』第一〇〇号、二一八ページ
- 河上徹太郎（一九七四年）『わが中原中也』昭和出版
- 川喜多愛郎（一九七〇年）『病気とは何か』筑摩書房
- 栗田広（一九九四年）「小児分裂病」木村編『精神分裂病Ⅰ 精神病理』（中山書店）所収
- 栗本藤基（一九八〇年）「分裂病者の母親に内観を施行しての一考察」『第三回日本内観学会発表論文集』（日本内観学会事務局）所収
- E・クレペリン（一九八六年）『精神分裂病』みず書房
- A・ケストラー（一九六九年）『機械の中の幽霊』ぺりかん社
- 小坂英世（一九六〇年）「精神分裂病患者の家族関係の研究」『医療』第一四卷、二五九—二七二、三五四—三六〇ページ
- 小坂英世（一九七〇年）『精神分裂病患者の社会生活指導』医学書院
- 小坂英世（一九七一年a）「リハビリテーションの技術論」江副勉監修『精神科リハビリテーション』（医歯薬出版）所収
- 小坂英世（一九七一年b）「ある家族の手紙」『精神医療』第二卷一号、九五—一〇一ページ
- 小坂英世（一九七二年a）「精神分裂病治療における通院治療と入院治療」小坂教室テキストシリーズNo.3
- 小坂英世（一九七二年b）『患者と家族のための精神分裂病理論』珠真書房
- 小坂英世（一九七二年c）『精神分裂病読本』日本看護協会出版部
- 小坂英世（一九七三年a）「再発の研究」小坂教室テキストシリーズNo.5

参考文献

- 小坂英世（一九七三年b）「抵抗とイヤラシイ再発の研究」小坂教室テキストシリーズNo.6  
小坂英世（一九七三年c）「再燃、症状の動揺、症状の進行、症状の増悪および初発の研究」小坂教室テキストシリーズNo.7
- 小坂英世（一九七四年）「過去の分析（その1）」小坂教室テキストシリーズNo.9  
小坂英世（一九七六年）「私の病因論と治療法」小坂教室テキストシリーズNo.11  
小坂英世（一九七七年）「小坂から患者諸君に」小坂教室発行の一九七七年一月二〇日付リーフレット  
小坂英世（一九八七年）「駆水剤による精神病治療」『日本東洋医学雑誌』第三七巻、三四五ページ  
小林秀雄（一九六八年）「金閣焼亡」『古典と伝統について』講談社 所収  
H・コリンズ、T・ピンチ（一九九七年）『七つの科学事件ファイル——科学論争の顛末』化学同人  
近藤誠（二〇〇〇年）『医原病——「医療信仰」が病気をつくりだしている』講談社プラスα新書  
斉藤道雄（一九九五年）『原爆神話の五〇年——すれ違う日本とアメリカ』中公新書  
斉藤道雄（二〇〇二年）『悩む力』みず書房  
佐木隆三（一九九六年）『オウム法廷——連続傍聴記』小学館  
佐々木章（一九八〇年）『分裂病の娘の記録』晩聲社  
A・J・サティラロ、T・モンテ（一九八三年）『がん——ある「完全治癒」の記録』日本教文社  
澤口俊之（一九九七年）『私』は脳のどこに在るのか』筑摩書房  
澤口俊之（二〇〇一年）『座談会 ころろに迫る脳科学』での発言『ころろの科学』第一〇〇号  
志水彰（一九七五年）「異常思考時の筋活動とVER——夢と幻聴について」『脳波と筋電図』第三卷、九一—九二ページ  
下田治美（二〇〇一年）『精神科医はいらない』角川書店

- 「少年A」の父母（一九九九年）『少年A この子を生んで』文藝春秋
- 杉原美津子（一九八三年）『生きてみたいもう一度』文藝春秋
- 杉森久英（一九六九年）『天才と狂人の間』角川文庫
- N・P・スパノス、V・ウィリアムズ、M・I・グウィン（二〇〇二年）『いぼの退縮に対する催眠療法、偽薬、サリチル酸治療の効果』笠原編『偽薬効果』（春秋社）所収
- 田中美知太郎編（一九八〇年）『プロティノス・ポルビュリオス・プロクロス』中央公論社
- 鶴間和幸吉村作治、松本健他（二〇〇〇年）『座談会——四大文明をめぐる「四」埋葬』鶴間和幸他編著『NHKスペシャル 四大文明 中国』（NHK出版）所収
- P・テイヤール・ド・シャルダン（一九六九年）『現象としての人間』みすず書房
- H・ディーンストフライ（二〇〇二年）『心身の研究における心と心の不在』笠原編『偽薬効果』（春秋社）所収
- 中井久夫（一九九八年）『最終講義——分裂病私見』みすず書房
- 中川俊二（一九七八年）『癌の自然退縮に関する心身医学的考察』『治療』第六〇巻、五九三—五九九ページ
- 中田力（二〇〇一年）『座談会 こころに迫る脳科学』での発言『こころの科学』第一〇〇号
- 中谷陽二（一九九四年）『分裂病と暴力——治療者が迫害者に変ずるとき』木村編『精神分裂病Ⅰ 精神病理』（中山書店）所収
- 西川正（二〇〇二年）『分裂病治療者のカルテ』星和書店
- U・ヌーバー（一九九七年）『傷つきやすい子ども』という神話——トラウマを超えて』岩波書店
- T・X・バーバー（一九七五年）『催眠』誠信書房
- 浜田晋（一九七五年a）『症例16』分裂病同胞例』岡田靖雄他編『精神科症例集 上巻』（岩崎学術出版）所収
- 浜田晋（一九七五年b）『症例17』分裂病（女・三三歳、もと会社員）』岡田他編『精神科症例集 上巻』（岩

- 崎学術出版」所収
- 浜田晋（一九七五年c）「症例18」分裂病（女・一九四三年五月うまれ）岡田他編『精神科症例集 上巻』（崎学術出版）所収
- 浜田晋（一九八五年）『こころ医者の記』毎日新聞社
- 浜田晋（一九八六年）「小坂療法と私——小坂流家族療法の再検討」大原・石川編『家族療法の理論と実際 1』（星和書店）所収
- 浜田晋（一九九四年）『心をたがやす』岩波書店
- 浜田晋（二〇〇一年）『私の精神分裂病論』医学書院
- 浜田晋、川上武（二〇〇一年）「臨床日記からみる戦後病人史——『私の精神分裂病論』が提起したもの」『週刊医学会新聞』第二四四三号
- 林郁夫（一九九八年）『オウムと私』文藝春秋
- 東豊（一九九七年）『セラピストの技法』日本評論社
- 日高敏隆（一九八二年）「解説」岸田秀『続・ものぐさ精神分析』（中公文庫）所収
- 日野厚（一九八三年）「本書に寄せて」サティラロ他『がん——ある「完全な治癒」の記録』（日本教文社）所収
- 昼田源四郎（一九八九年）『分裂病者の行動特性』金剛出版
- 広瀬弘忠（二〇〇一年）『心の潜在力——プラーシーボ効果』朝日新聞社
- 広田伊蘇夫（一九七二年）「もちあじ論への疑問——園田よし氏（あけぼの会）との関連から」『精神医療』第二巻三号、八七—九〇ページ
- 福岡県弁護士会精神保健委員会編（二〇〇二年）『触法精神障害者の処遇と精神医療の改善』明石書店
- 福島章（一九七二年）『正気と狂気の間』至文堂

藤沢敏雄（一九七一年）『過渡期の悲劇——小坂英世氏に関するおぼえ書き』『精神医療』第二卷二

号、一一八一—一二二ページ

プラトン（一九七四年）『メノン』『プラトン全集9』（岩波書店）所収

V・E・フランクル（二〇〇二年）『夜と霧 新版』みず書房

古川奈都子（二〇〇一年）『心を病むってどういうこと？——精神病の体験者より』ぶどう社

降幡賢一（一九九八年a）『オウム法廷——グルのしもべたち 上』朝日文庫

降幡賢一（一九九八年b）『オウム法廷——グルのしもべたち 下』朝日文庫

降幡賢一（一九九八年c）『オウム法廷②——グルvs.信徒 上』朝日文庫

降幡賢一（一九九八年d）『オウム法廷②——グルvs.信徒 下』朝日文庫

降幡賢一（一九九九年）『オウム法廷④——松本智津夫の意見陳述』朝日文庫

S・フロイト（一九七〇年）『日常生活の精神病理学』人文書院

W・ブロード、N・ウエード（一九八八年）『背信の科学者たち』化学同人

H・ベルクソン（一九七九年）『道徳と宗教の二つの源泉』澤瀉久敬編『ベルクソン』（中央公論社）所収

H・ベルクソン（一九九二年）『精神のエネルギー』第三文明社

H・ベンソン（二〇〇二年）『反偽薬効果——その歴史と生理学』笠原編『偽薬効果』（春秋社）所収

本多勝一（一九八一年）『中国の旅』朝日文庫

正木亮、吉益脩夫編（一九六七年）『正田昭・黙想ノート』みず書房

H・ミアーズ（一九九五年）『アメリカの鏡・日本』メディアアファクトリー

S・ミルグラム（一九七五年）『服従の心理——アイヒマン実験』河出書房新社

森達也（二〇〇三年）『時代を撃つ』『週刊金曜日』六月二七日号

- 安原喜弘(二〇〇〇年)「詩人との出会い——中原中也の手紙」(青土社) 所収  
 安永浩(一九七七年)「分裂病者にとつての『主体他者』」安永浩編『分裂病の精神病理6』(東京大学出版会) 所収  
 柳原和子(二〇〇〇年)『がん患者字——長期生存者に学ぶ』晶文社  
 山崎浩子(一九九四年)『愛が偽りに終わるとき』文藝春秋  
 山中康裕、山田宗良編(一九九三年)『分裂病者と生きる』金剛出版  
 S・ユードル(一九九五年)『八月の神話——原子力と冷戦がアメリカにもたらした悲劇』時事通信社  
 横川和夫(二〇〇三年)『降りていく生き方——「べてるの家」が歩む、もうひとつの道』太田次郎社  
 吉岡秀子(二〇〇三年)『青木まりこ現象』不滅の掟』『AERA』十一月一七号  
 吉益脩夫(一九六七年)「解説にかえて」正木、吉益編『正田昭・黙想ノート』(みすず書房) 所収  
 吉本伊信(一九六五年)『内観四十年』春秋社  
 林宗義(一九八二年)『分裂病は治るか』弘文堂  
 R・S・レヴィ、J・ジャンコヴィック(二〇〇二年)「偽薬により誘発された転換反応——ヒステリー性失語、発作、昏睡の神経行動学的、脳波学的研究」笠原編『偽薬効果』(春秋社) 所収  
 「性失語、発作、昏睡の神経行動学的、脳波学的研究」笠原編『偽薬効果』(春秋社) 所収  
 Bar-Eli, Y., et al. (2000). Jerusalem syndrome. *British Journal of Psychiatry*, 176, 86-90.  
 Barber, T.X. (1978). Hypnosis, suggestions, and psychosomatic phenomena: A new look from the standpoint of recent experimental studies. *American Journal of Clinical Hypnosis*, 21, 13-37.  
 Bergson, H. (1920). *Mind-Energy: Lectures and Essays*. New York: Henry Holt and Company.  
 Challis, G.B., and Stamm, H.J. (1990). The spontaneous regression of cancer: A review of cases from 1900 to 1987. *Acta Oncologica*, 29, 545-50.  
 Chauvet, J.-M., Deschamps, E.B., and Hillaire, C. (1996). *Damn of Art: The Chained Care: The Oldest Known Paintings in the World*. New York: Harry N. Abrams.



- Clarke, A.M., and Clarke, A.D.B. (1976). *Early Experience: Myth and Evidence*. London: Open Books.
- Collins, H., and Pinch, T. (1993). *The Golem: What Everyone Should Know About Science*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Conard, N.J. (2003). Paleolithic ivory sculptures from southwestern Germany and the origins of figurative art. *Nature*, 426, 830-32.
- DuBreuil, S.C., and Spanos, N.P. (1993). Psychological treatment of warts. In J.W. Rhue, S.J. Lynn, & I. Kirsch (Eds.), *Handbook of Clinical Hypnosis* (pp. 623-48). Washington, D.C.: American Psychological Association.
- Earman, J., and Glymour, C. (1980). Relativity and eclipses: The British eclipseexpeditions of 1919 and their predecessors. *Historical Studies in the Physical Sciences*, 11, 49-85.
- Eisenberger, N.I., Lieberman, M.D., and Williams, K.D. (2003). Does rejection hurt? An fMRI study of social exclusion. *Science*, 302, 290-92.
- Ewin, D.M. (1978). Clinical use of hypnosis for attenuation of burn depth. In F.H. Frankel & H.S. Zamansky (Eds.), *Hypnosis at its Bicentennial: Selected Papers* (pp. 155-62). New York and London: Plenum Press.
- Farber, S.L. (1981). *Identical Twins Reared Apart: A Ramplisic*. New York: Basic Books.
- Gomez, G. (1998). The timing of conscious experience: A critical review and reinterpretation of Libet's research. *Conscious Cognition*, 7, 559-95.
- Hilgard, E.R. (1976). Neodissociation theory of multiple cognitive control systems. In G.E. Schwartz & D. Shapiro (Eds.), *Consciousness and Self-Regulation: Advances in Research*, vol. 1 (pp. 137-71). New York: Plenum Press.
- Ikeni, Y., and Nakagawa, S. (1962). A psychosomatic study of contagious dermatitis. *Kyushu Journal of Medical Science*, 13, 335-50.
- Inouye, T., and Shimizu, A. (1970). The electromyographic study of verval hallucination. *Journal of Nervous and Mental Disease*, 151, 415-22.
- Kasahara, T. (1983). A presumed case of spontaneous psychokinesis in a psychotherapy situation. *Journal of the American Society of Psychosomatic Dentistry and Medicine*, 30 (2, 3), 56-65, 75-84.
- Koestler, A. (1955). *The Trail of the Dinosaur & Other Essays*. London: Collins.

- Lewis, N.D.C., and Engle, B. (Eds.). (1954). *Wartime Psychiatry: A Compendium of the International Literature*. New York: Oxford University Press.
- Libet, B., Gleason, C.A., Wright, E.W., and Pearl, D.K. (1983). Time of conscious intention to act in relation to onset of cerebral activity (readiness-potential). The unconscious initiation of a freely voluntary act. *Brain*, 106, 623-42.
- Magherini, G. (1995). *Sindrome di Stendhal*. 2nd ed. Firenze: Ponte Alle Grazie.
- Mason, A.A. (1952). A case of congenital ichthyosiform erythrodermia of Brocq treated by hypnosis. *British Medical Journal*, Aug. 23, pp. 422-23.
- Mason, A.A. (1953). Mind and the skin. *British Medical Journal*, Jan. 24, p. 220.
- Mason, A.A. (1955). Ichthyosis and hypnosis. *British Medical Journal*, July 2, pp. 57-58.
- Mason, A.A. (1994). A psychoanalyst looks at a hypnotist: A study of folie à deux. *Psychoanalytic Quarterly*, 53, 641-79.
- O'Regan, B., and Hirschberg, C. (1993). *Spontaneous Remission: An Annotated Bibliography*. Sausalito, CA: Institute of Noetic Sciences.
- Okey, T. (trans.). (1919). *The Little Flowers of Saint Francis: Being a Translation of I Fioretti di S. Francesco*. London: J.M. Dent & Sons.
- Rose, S., Kamin, L.J., and Iwontin, R.C. (1984). *Not in Our Genes*. Harmondsworth, Middlesex: Penguin.
- Stevenson, I. (1950). Physical symptoms during pleasurable emotional states. *Psychosomatic Medicine*, 12, 98-102.
- Stevenson, I. (1970). Physical symptoms occurring with pleasurable emotional states. *American Journal of Psychiatry*, 127, 175-79.
- Valladas, H., et al. (2001). Paleolithic paintings: Evolution of prehistoric cave art. *Nature*, 413, 479.
- Wolf, S. (1950). Effects of suggestion and conditioning on the action of chemical agents in human subjects: The pharmacology of placebos. *Journal of Clinical Investigation*, 29, 100-9.